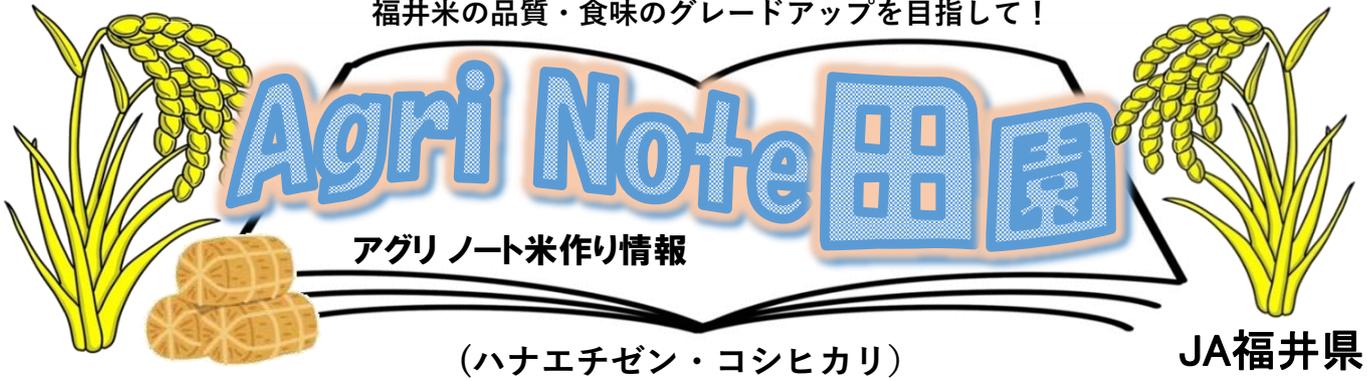


福井米の品質・食味のグレードアップを目指して！



アグリノート米作り情報

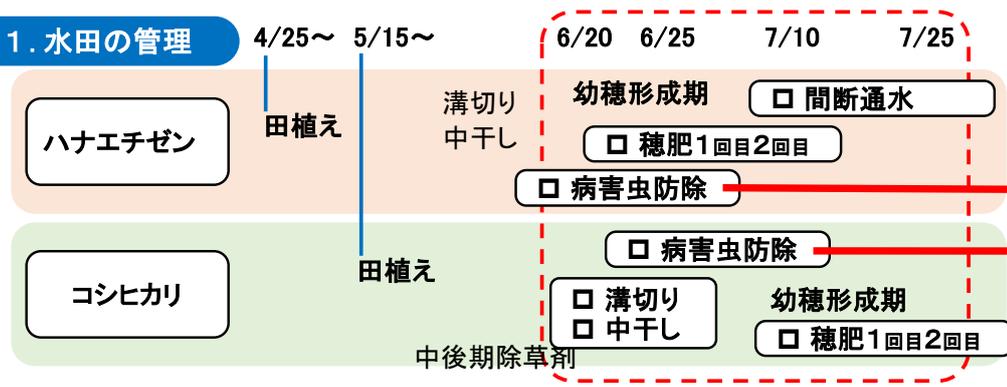
(ハナエチゼン・コシヒカリ)

JA福井県

☆病害予防とカメムシ対策☆

6月になり梅雨の時期に入りました。雨の多い時期になり雑草が生えやすい環境になりますので草刈りを行いましょう。また本田では、病虫害防除や穂肥の散布など重要な管理が続きます。中干し終了後は間断通水を実施し根の活力を促しましょう。今後、気温も高くなるかと思いますので、作業の休憩とこまめな水分補給を心掛けましょう。

1. 水田の管理



①病害の予防

圃場を見回り早めの予防剤散布を行いましょう。前年発生した圃場では、菌核が越冬し発生が予測されます。

病害の防除の基本は

- 事前の予防対策
- 病害の早期発見
- 発見時速やかな対処

田植え時に箱施薬が未使用の場合は、本田へのいもち・紋枯病防除を行いましょう！

■ いもち病

梅雨期あたりからは葉いもちの発病が始まり穂いもちに進展します。

予防剤：オリゼート粒

■ 紋枯病

近年増加傾向で株元から徐々に上部に伸展し、病気が進むと株が弱くなり、倒伏しやすくなります。

予防剤：リンバー粒・モンカット粒

②穂肥

分施肥栽培の圃場では、穂肥の時期になります。田植日・肥培等で生育が異なりますので必ず幼穂を確認して行きましょう。

品種	1回目	幼穂長	2回目
ハナエチゼン	6月下旬	1~2mm	1回目の10日後
コシヒカリ	7月中旬	10mm	10日後

★ 一発肥料の圃場でも、葉色が淡い、茎数が少ない場合は検討しましょう。

★ 防除や穂肥のお問合せは各支センターの営農指導員まで



2. カメムシ対策



本年は暖冬の影響で、斑点米の原因となるカメムシの発生が多いと予想されます。カメムシの圃場内への進入を防止するため、畦畔・農道の草刈りと圃場内の雑草処理を行いましょう。

① 畦畔管理

斑点米カメムシはイネ科雑草を好みます。イネ科雑草が優占する環境を防ぎましょう。

草刈りは3~5cm程度の高刈りがおすすめ!!

② 圃場内の除草管理

圃場内のヒエやホタルイなどの雑草もカメムシを誘引します。雑草が多くなる前に後期除草剤を使用しましょう。

③ 県下一斉の畦畔草刈り実践デー
地域ぐるみの草刈りで斑点米カメムシの発生を減らしましょう。

1回目 6月22日(土)、23日(日)
2回目 7月 6日(土)、7日(日)

注意：草刈り時期の遅れは、かえって圃場にカメムシを呼び込みます!!

今回のアグリノート田園は、嶺南営農経済センター（米穀施設課）大北が担当しました。